

雌阿寒岳

雌阿寒岳（1,499m）は阿寒湖の南西部にそびえる阿寒の山脈地帯で最も標高の高い山です。約 5 万前に始まった複数の火山活動によってできた 10 つの山頂が複合した成層火山です。

山の麓から頂上まで、周囲にいつまでも立ち込めている硫黄の匂いは、このエリアの広範囲にわたる火山活動を思い起こさせます。火山活動により雌阿寒岳の土壌は栄養素が少なく、強い植物のみが成長できる環境下で作られています。6 月から 7 月には高山植物が咲き、その多くが固有種です。多年生で白い花が特徴的なメアカンフスマ(*Arenaria merckii* Maxim.)と多年生で黄色い花が特徴的なメアカンキンバイ(*Potentilla miyabei* Makino)はどちらも雌阿寒岳で初めて発見された植物です。雌阿寒岳と阿寒富士の間に広がる花の草原は、このエリアの中で最も美しいスポットのひとつと言われています。

雌阿寒岳への登頂コースは多様で、どれも 3 時間から 4 時間で登ることができます。山頂にはポンマチネシリ火口やナカマチネシリ火口の 360 度の景観がゴツゴツした火山地形と共にあり、遠方には阿寒湖、雄阿寒岳、摩周湖を見ることが出来ます。

円錐状の阿寒富士の山頂は、ポンマチネシリ火口の南にあり、オンネトーコースから分岐するジグザグの道を経由するとたどり着くことが出来ます。往復の所要時間は約 1 時間半です。